

景況

レポート
2022年4～6月期調査

景気動向の概況

業況DIは前期比
4.8ポイントの改善

業況DIは新型コロナウイルスの感染状況に落ち着きが見られる中で、経済社会活動の正常化が進み、持ち直しの傾向にあります。全業種の業況DIは▲25.1で製造業が▲16.5、非製造業が▲29.4となりました。来期についても、製造業が▲11.6に対して非製造業が▲25.6となっており、やや改善の状況が続く見通しであります。一方、ロシアによるウクライナ侵攻は更に長期化する見通しで、世界情勢は引き続き不安定な状況にあります。

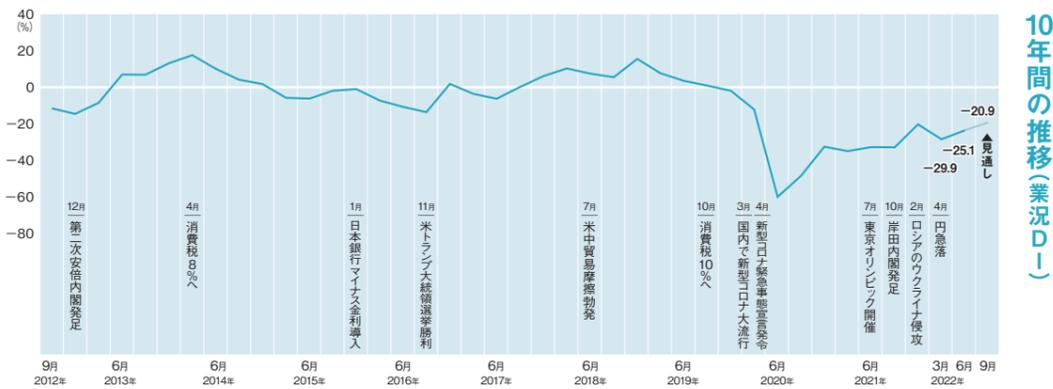
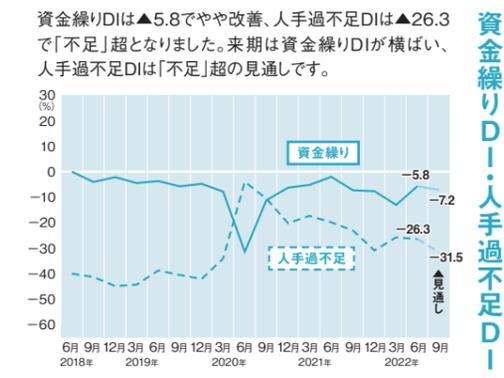
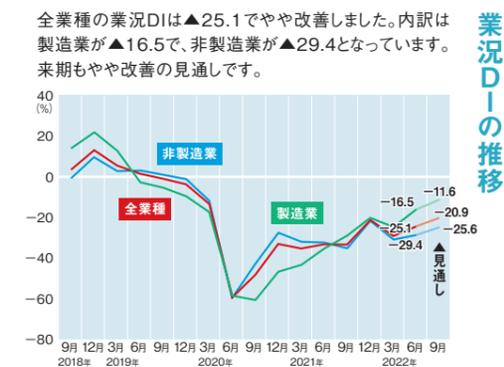
その他、中国上海のロックダウンの影響による部品供給の停止や物流の混乱、資源価格高騰による輸入物価の上昇、急激に円安が進む為替動向など下振れリスクを数多く抱えており、今後の推移には十分注意する必要があります。

調査要領	合計			小売業			サービス業		
	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率
合計	1547社	501社	32.4%	163社	41社	25.2%	345社	102社	29.6%
製造業	396社	164社	41.4%	116社	27社	23.3%	-	-	-
建設業	325社	102社	31.4%	-	-	-	-	-	-
卸売業	202社	65社	32.2%	-	-	-	-	-	-

調査時点 / 2022年5月13日～6月1日
調査依頼先 / 当庫取引先
調査方法 / 郵送調査
調査対象期間 / [今期] 2022年4月～6月
[前期] 2022年1月～3月
[来期] 2022年7月～9月
分析方法 / 「増加」(上昇)したとする企業の占める構成比と、「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(DI)により分析を行った。
※DI: Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)

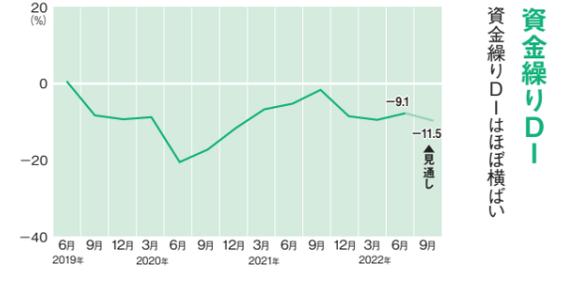
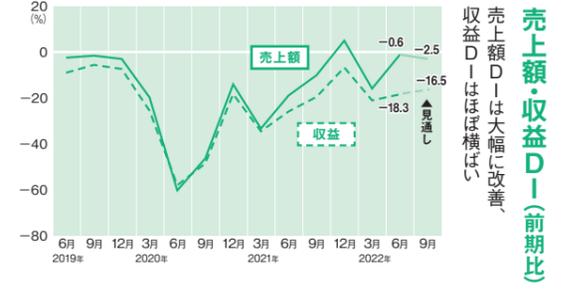
全業種総合DI

業況はやや改善、
来期もやや改善の見通し



製造業

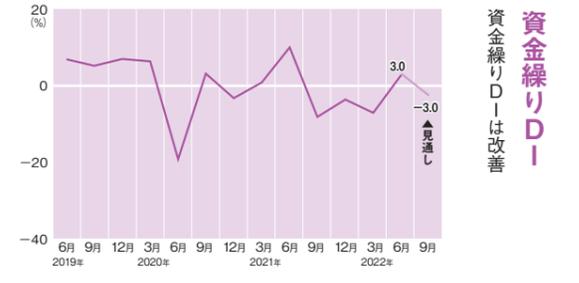
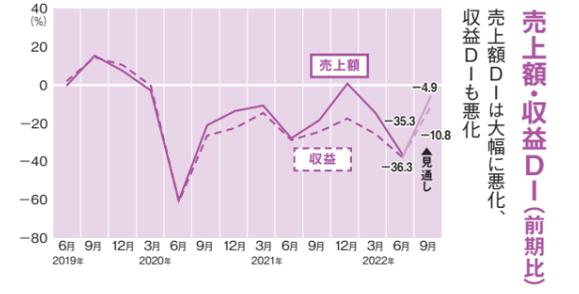
業況はやや改善、
来期もやや改善の見通し



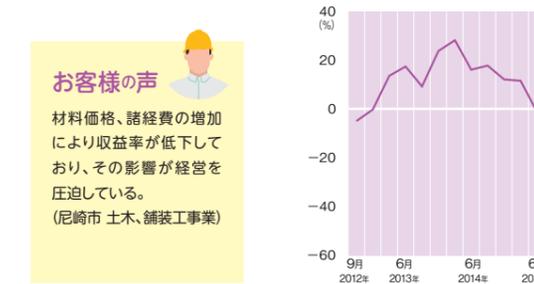
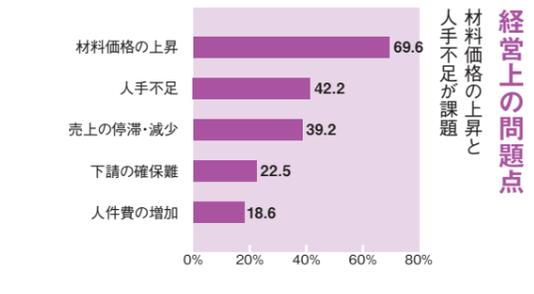
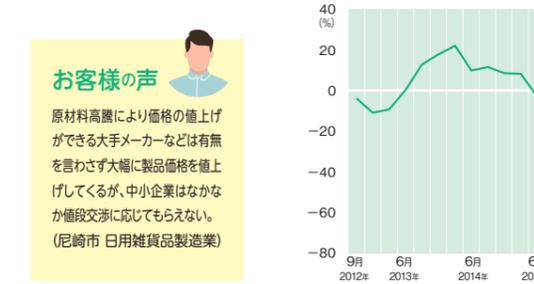
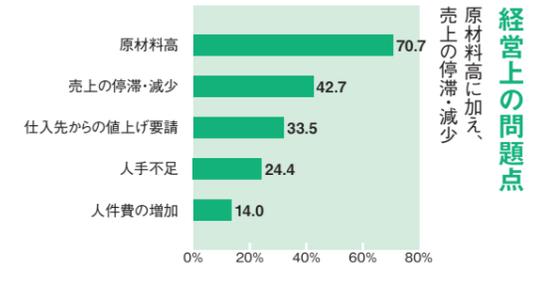
前期 晴
今期 曇
見通し 曇

建設業

業況は悪化、
来期はやや改善の見通し



前期 晴
今期 曇
見通し 曇



お客様の声
材料価格、諸経費の増加により収益率が低下しており、その影響が経営を圧迫している。
(尼崎市 土木、舗装工事業)

前期 晴
今期 曇
見通し 曇

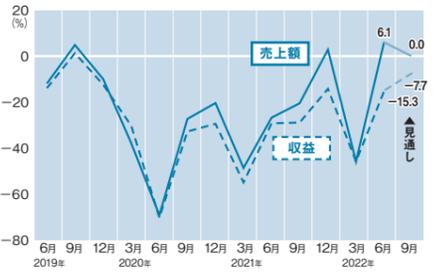


卸売業

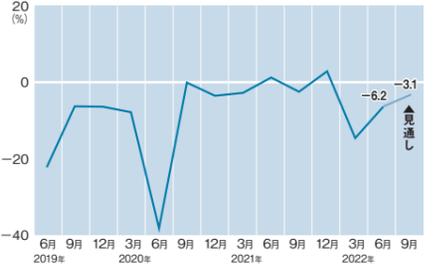
業況はほぼ横ばい、
来期はやや改善の
見通し

- 前期
- 今期
- 見通し

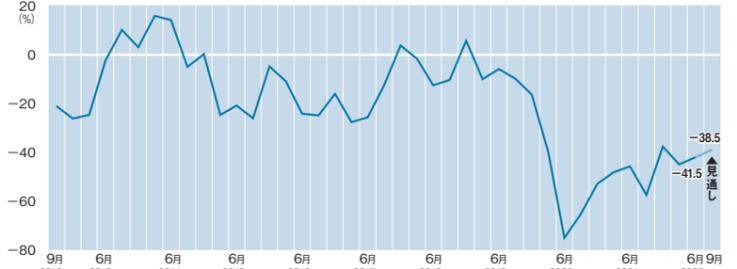
売上額・収益D-I(前期比)
売上額D-Iは大幅に改善、
収益D-Iは改善



資金繰りD-I
資金繰りD-Iはやや改善

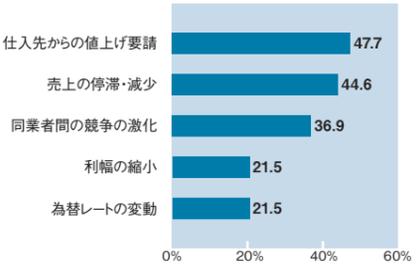


10年間の推移(業況D-I)



経営上の問題点

仕入先からの値上げ要請と
売上の停滞が課題



価格D-I

仕入価格D-Iは大幅に上昇、
販売価格D-Iも大幅に上昇



お客様の声

コロナとロシア・ウクライナ
情勢による物流の停滞と
半導体不足、中国工場での
コスト上昇など、まだまだ
先行きは不透明です。
(三木市 卸売業)

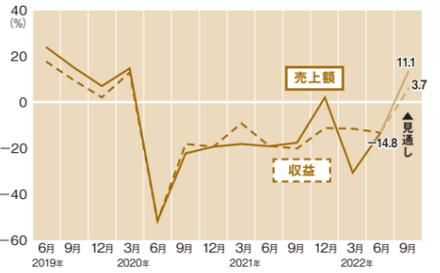


不動産業

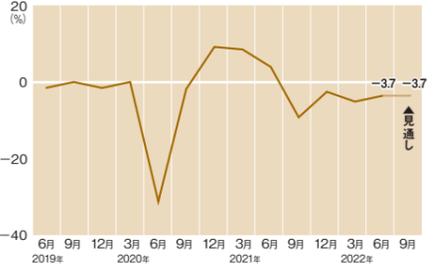
業況はやや改善、
来期は改善の
見通し

- 前期
- 今期
- 見通し

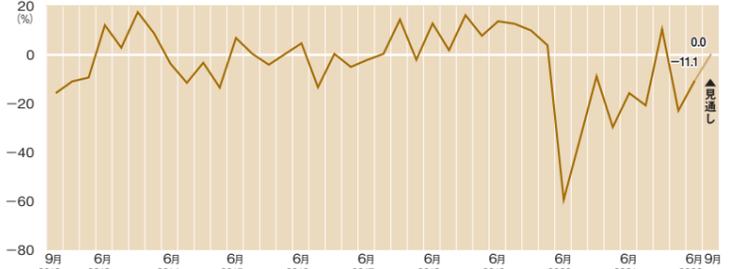
売上額・収益D-I(前期比)
売上額D-Iは改善、
収益D-Iは横ばい



資金繰りD-I
資金繰りD-Iは横ばい

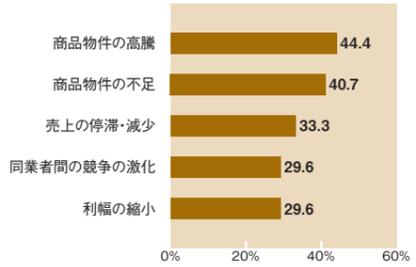


10年間の推移(業況D-I)



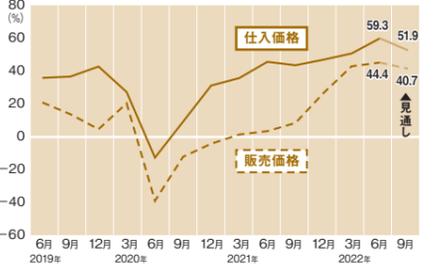
経営上の問題点

商品物件の
高騰・不足が問題



価格D-I

仕入価格D-Iはやや上昇、
販売価格D-Iはほぼ横ばい



10年間の推移(業況D-I)



小売業

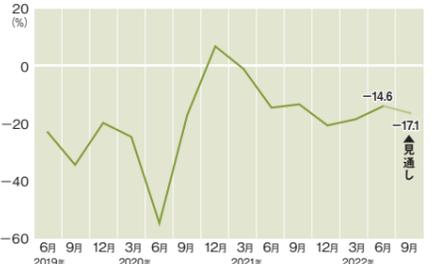
業況はやや改善、
来期もやや改善の
見通し

- 前期
- 今期
- 見通し

売上額・収益D-I(前期比)
売上額D-Iは改善、
収益D-Iも改善

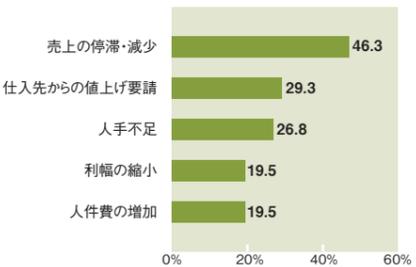


資金繰りD-I
資金繰りD-Iはやや改善



経営上の問題点

売上の停滞・減少、仕入先からの
値上げ要請が問題

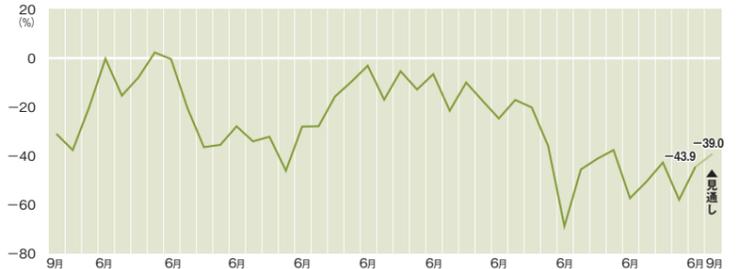


価格D-I

仕入価格D-Iは上昇、
販売価格D-Iは大幅に上昇



10年間の推移(業況D-I)



サービス業

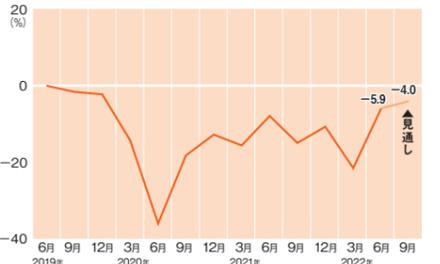
業況はやや改善、
来期は横ばいの
見通し

- 前期
- 今期
- 見通し

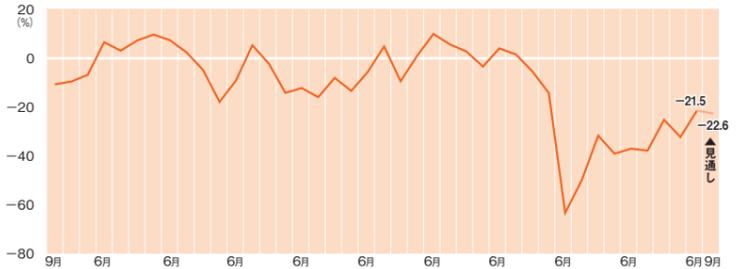
売上額・収益D-I(前期比)
売上額D-Iは改善、
収益D-Iも改善



資金繰りD-I
資金繰りD-Iは大幅に改善

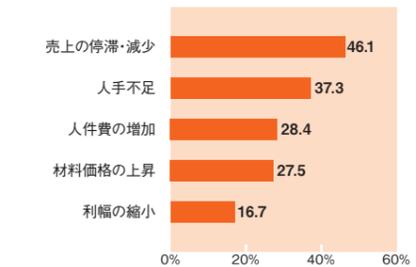


10年間の推移(業況D-I)



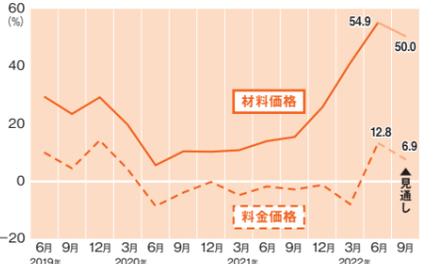
経営上の問題点

売上の停滞、人手不足が課題



価格D-I

材料価格D-Iは上昇、
料金価格D-Iは大幅に上昇



お客様の声

中国コロナ(上海のロックダウン)の影響による貿易の
停滞、ガソリン、軽油等の燃料
価格の高騰が自動車業界
に大きな打撃を与えている。
(大阪市 自動車整備業)